



ユーザ付きの電話

この章では、Cisco Unified Communications Manager 一括管理を使用して、ユーザのグループとそれらの電話を1つの一括トランザクションで Cisco Unified Communications Manager サーバに追加する方法について説明します。電話機の CSV データ ファイルを作成するためのオプションは、次の2つがあります。

- BAT スプレッドシート (BAT.xlt) を使用して、データを CSV 形式にエクスポートする。
- テキスト エディタを使用して、CSV 形式のテキスト ファイルを作成します (経験豊富なユーザ向け)。

[ユーザ付きの電話の挿入 (Insert Phones with Users)] オプションは、Cisco Unified Communications Manager Administration メイン メニューから [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話とユーザ (Phones and Users)] を選択してアクセスできます。

- [新しい電話機とユーザの追加 \(1 ページ\)](#)
- [BAT スプレッドシートを使用したユーザと電話機の追加 \(2 ページ\)](#)
- [ユーザ付きの電話関連のトピック \(2 ページ\)](#)

新しい電話機とユーザの追加

電話機とユーザを一緒に挿入するには、次の手順を使用します。

手順

ステップ 1 更新する電話機/ユーザ レコードに対して個別の値を定義するには、カンマ区切り値 (CSV) データファイルを作成します。

- [BAT スプレッドシートを使用したユーザと電話機の追加 \(2 ページ\)](#) を参照してください。
- テキストベースの CSV ファイルについては、[ユーザ付き電話機ファイル形式](#)を参照してください。

ステップ2 ファイル形式を CSV データファイルに関連付けます。

- [電話およびユーザ ファイル形式の追加](#)を参照してください。

ステップ3 電話機とユーザ レコードを検証します。

- [電話機レコードとユーザ レコードの検証](#)を参照してください。

ステップ4 電話機とユーザ レコードを挿入します。

- [Unified Communications Manager への電話機とユーザの挿入](#)を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用したユーザと電話機の追加

電話機とユーザを一括して追加するための CSV データファイルを作成します。

手順

ステップ1 BAT スプレッドシートを開くには、BAT.xlt ファイルを探してダブルクリックします。

BAT.xlt ファイルをダウンロードできます。

ステップ2 スプレッドシートの機能を使用するように求められたら、[マクロを有効にする (Enable Macros)] をクリックします。

ステップ3 スプレッドシートの下部にある [電話-ユーザ (Phone-Users)] タブをクリックします。

ステップ4 [BAT スプレッドシートを使用した電話用 CSV データファイルの作成](#)のステップ4 から 10 に従います。

関連トピック

[CSV データファイルを作成するために BAT スプレッドシートのデータを収集する](#)

[ユーザ付きの電話関連のトピック \(2 ページ\)](#)

[ファイルのアップロードおよびダウンロード](#)

ユーザ付きの電話関連のトピック

- [新しい電話機とユーザの追加 \(1 ページ\)](#)
- [ユーザ付き電話機ファイル形式](#)
- [電話およびユーザ ファイル形式の追加](#)
- [電話機レコードとユーザ レコードの検証](#)

- [Unified Communications Manager](#) への電話機とユーザの挿入

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。